



理念

- ・ 良質で心温まる医療
- ・ 奉仕の精神
- ・ 研鑽と謙虚

基本方針

- ・ 患者さまの権利を守ることを第一とする
- ・ 患者さまとのコミュニケーションを大切にする
- ・ 常に医療倫理の元に行動する
- ・ 医療安全管理の基本を怠らない
- ・ 良い接遇は良い医療を生み出すことを銘記する

新年度のごあいさつ

平成から令和に改元されました。ゴールデンウィークと重なり長期の連休期間中お祝いムードが続きましたが、また日常の生活が帰ってきました。当院も平成を必死に駆け抜けてきた一施設です。多くの従業員の努力により、また多くの患者さんをはじめ地区住民の支持を得てこれまで発展してきました。30年余り維持運営することは大変な努力が必要であったと思います。

じょうがんせいよう

「貞観政要」という唐の太宗皇帝の言行録があります。北条政子や



病院長 大庭 治

そうそう

徳川家康も好んでこの書を読んで長く政権を維持出来たものと思います。この中で「草創（創業）と守文（守成＝維持）はどちらが困難か」と問われています。長期にわたり国や組織を維持することは大変な努力が必要であり、多くの歴史に学ぶのも一つの方法です。

昭和はある意味いったん破綻したが、継承的創業で戦後の発展を遂げました。平成は皆さんの記憶にも残っているように本当に多くの災害を経験しましたが、どうか経済的には持ち堪えました。令和は宗教間の対立や不安定な東アジア情勢、引き続き少子高齢化社会、多死人口減少時代を迎え、働き方改革、人材不足等々多くの困難な問題が存在しています。一つ精神的なバックボーンがなければどこに向かうか不安なところもあります。中小病院にとって厳しい環境ではありますが令和という時代のニーズに応えられるよう柔軟に対応する必要があります。

一昨年来、ガンマナイフ、放射線診断装置や手術中に必要なX線透視装置、聴力検査装置、ネブライザーなど多くの診療機器を更新してきました。今年は体外衝撃波碎石装置の更新や泌尿器科に必要な手術機器の新設を行います。この地域に無い治療方法も積極的に導入する方針は過去から継続した私たちの病院の方針です。

老朽化した施設の維持管理は本当に大変ですが少しずつ空いたスペースを利用しながら進めていきます。入院診療における必要な処置をする場所やプライバシーの保たれる場所、職員のためのスペース、また入退院の支援や医療連携のしやすい環境づくりも早期に手掛けたいと思います。

看護部長も少し若返り、より張り切っています。患者中心の医療は私たちの目標です。当院を訪れた患者さんたちが少しでも良くなっただけのよう皆で努力いたします。



たかの橋通信

外来診察担当医表

平成31年4月1日現在

診療科	区分	月	火	水	木	金	土	
内科	午前	1診		梅村(糖尿)	大庭	山本屋(糖尿)		田妻(月1回)
		2診	麻奥	小泊	阪田	麻奥	麻奥	阪田
		3診	中村	中村		小泊	田利	中村
		専門外来			北川(循環器)			
	午後	1診			大庭			
		2診	阪田	阪田	麻奥		阪田	
		3診		麻奥 (第1、第3) 14:30~16:30	中村		田利	
整形外科	午前	久保田/手術	瀬分	久保田	久保田	久保田/手術	亀井	
	午後	久保田	瀬分	久保田	手術	瀬分		
外科	午前	赤羽	手術/広大			赤羽		
	午後	手術/赤羽		広大病院		手術/赤羽		
血管外科	午前	春田	手術		硬化療法	春田		
	午後	手術	手術	春田		手術		
耳鼻咽喉科	午前	林(鷹)	林(鷹)	林(鷹)	林(鷹)	林(鷹)	林(鷹)	
	午後	林(鷹)	手術	林(鷹)		林(鷹)		
泌尿器科	午前	林(睦)/金岡/岡	林(睦)/金岡/岡	林(睦)/金岡/岡 手術	(林(睦))/金岡/岡 手術	(林(睦))/金岡/岡	金岡/岡	
	午後	林(睦)/金岡/岡	林(睦)/金岡/岡	手術		林(睦)/金岡/岡		
脳神経外科	午前	秋光	秋光(橋詰)	秋光(橋詰)	秋光	秋光(橋詰)	橋詰	
	午後		秋光(橋詰)	秋光(橋詰)		秋光(橋詰)		
皮膚科	午前	江草 9:00~12:00		江草 9:00~12:00				
	午後							

備考	<p>脳神経外科においては、紹介患者のみの予約外来となっています。</p> <p>血管外科の硬化療法は要予約となっています。</p> <p>泌尿器科の林(睦)医師の土曜日の診察は、第4土曜日のみとなります。また、第4木曜日の林(睦)医師の診察は休診となります。</p> <p>泌尿器科の水曜日の受付は午前中のみ(8:30~12:00)となります。</p> <p>内科の田妻医師は土曜日、月1回(不定期)の診察になります。</p>
----	--

外来診察時間

各診療科ごとに休診日など異なりますので、外来担当医表と合わせてご確認ください。

曜日	種別	午前	午後
月・火・水・金曜日	受付時間	8:30 ~ 18:00 午前の受付は12:30までです。	
	診察時間	9:00 ~ 13:00	14:30 ~ 18:30
木・土曜日	受付時間	8:30 ~ 12:30	休診
	診察時間	9:00 ~ 13:00	

※ 日曜日、祝日 休診

広島市中区国泰寺町2-4-16 TEL082-242-1515

URL <http://www.jinyoukai.or.jp/>



介護老人保健施設 陽だまり施設長 新任のごあいさつ

この度、またご縁が出来、陽だまりの施設長をさせて頂くことになりました私の履歴を少し書かせてもらいます。

卒業後、麻酔医を目指していたのですが、結婚を契機に家庭に入りました。主人の仕事の関係で岡山から広島に来ました。その当時、大学の同級生で広島の人と結婚していた身内の方から、「広島市の保健所で医師を探しているから、貴女行きなさい」と勧められたのが、今日までの始まりでした。

検診と予防接種が主体で臨床ではなく予防医学なら、家庭と両立出来るのではと思ったのです。保健所から、検診機関へと職場を変わり、労働衛生コンサルタントの資格を取得。この頃から、検診、ドッグを自分でやりたいと思うようになりました。検診機関は数が多すぎて疲れて消耗してしまいます。産業医契約した事業所の人たちだけを中心にサポートしていきたいと考えました。その時、お力になって頂いたのが、林鷹治先生でした。義兄の知人でした。私の申し出に快く賛成してくださり、スムーズに話が纏りました。その後10年間余りさせていただきました。

その頃、市役所から産業医として来ないかと声が掛かり市役所の医務監として勤務することになりました。当時は産業医とか興味を持つ人も少なかったと思います。私は自分のライフワークと思いやってきました。健康は、食事と運動で作上げるものと思い、今までやってきました。メンタル疾患に罹る職員も多く、今では、労働者の最重要課題となっています。その人達は、精神面だけではなく、確実に食事、睡眠が乱れています。それを治すのは薬だけでは無理です。やはり、基本は食事と運動だと思っています。

運動も健康維持としてとても重要です。市役所に勤務している間は職場が16階にありましたので毎朝階段を上りました。階段で上り、途中職場巡視も兼ね、また、職員と話しをするのも楽しみでした。運動を生活の中に取り入れることが運動を続けるコツです。

また、この職について一番感じるのは、入所者の方の内服薬の多さです。書くのも大変です。今後の課題として勉強して行きたいと思います。

いろんな職種の集まりの集団です。抱える問題、悩みは違いますが、出来るだけ問題、悩みをオープンにして、風とおしの良い職場を作りたいと思います。いままでの経験を生かしながら、さらに、勉強して行きたいと思っています。どうぞ、宜しくお願いします。



施設長 大庭 容子

入社式を終えて

4月1日、新入職員14名(たかの橋中央病院13名、陽だまり1名)を迎え、新年度の入社式を開催いたしました。入社式においては、理事長、看護部長より、歓迎の意とともに、「社会人として責任を果たすこと」また、「色々な事を学んで成長していくことの大切さ」についての言葉がありました。新入職員も仁鷹会で頑張っていくよう一人ひとり決意を表明しました。

これから仁鷹会を背負っていく新入職員を職員全員一丸となって育成してまいります。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



2019年 入社式

過活動膀胱についてのお話 ～金岡先生より～

過活動膀胱とは

突然トイレに行きたくなる、頻回にトイレに行く、トイレまで我慢できずに漏れてしまうといった排尿に関する症状が現れる症状です。

治療としては行動療法、薬物療法、ボトックス（ボツリヌス毒素）などありますが、難治性の場合もあります。

なかなか治らない過活動膀胱に対して、SNM（仙骨神経刺激療法）が2017年9月から保険適応となりました。



医師 金岡 隆平

SNM（仙骨神経刺激療法）とは

SNM（仙骨神経刺激療法）とは排泄に関係する神経に持続的に電気刺激を与え、過活動膀胱や便失禁の症状の改善を図る治療法です。

治療の流れ

リード（刺激装置）の挿入・・・お尻の仙骨にリード（ワイヤーみたいなもの）を挿入する手術を行います。入院期間は3～4日です。

試験刺激・・・挿入したリードと体外式の刺激装置を接続し1～2週間試験的に刺激を行い効果があるかどうか観察します。

刺激装置の植え込み・・・試験刺激で効果がある場合は、刺激装置をお尻の皮下に埋め込む手術を行います。入院期間は1週間程度です。

現在この治療を県内行っている施設はありませんが、**当院ではこの治療法が行える準備が整っています。（手術のために2回入院が必要です）**

新しい治療であり、これまでの臨床試験では治療3カ月の時点で1日の尿失禁回数が約4割の患者さんで0回に、8割の患者さんで手術前の半分以下に減少するなど効果が期待できるものとなっています。

なかなか治らない過活動膀胱症状がある患者さんは、ぜひ**泌尿器科外来**にてご相談ください。

使用する機器

1. リード（刺激電極）

排泄に関係する仙骨神経に電気刺激を行います。

2. 刺激装置

治療用の電気刺激を発します。
おしりのふくらみ上部に植込みます。

3. 患者用プログラマ

衣服の上から刺激装置の調整を行うことができます。

